

## 利尻島におけるハムシ科甲虫の記録

重藤裕彬<sup>1)</sup>・山田 航<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>〒900-0001 那覇市港町2-11-1 那覇植物防疫事務所

<sup>2)</sup>〒251-0032 藤沢市片瀬2-13-17

### Distributional Records of Chrysomelid Beetles (Coleoptera, Chrysomelidae) from Rishiri-tô Is., Hokkaido, Japan

Hiroaki SHIGETO<sup>1)</sup> and Wataru YAMADA<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>Naha Plant Protection Station, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan,

2-11-1 Minatomachi, Naha, Okinawa, 900-0001 Japan

<sup>2)</sup>2-13-17 Katase, Fujisawa, Kanagawa, 251-0032 Japan

**Abstract.** A total of 26 chrysomelid species collected by our field surveys are recorded from Rishiri-tô Is., Hokkaido, Japan, including four new recorded species: 1) *Cryptocephalus nigrofasciatus*, 2) *Chrysomela lapponica*, 3) *Xanthogaleruca seminigra*, and 4) *Sphaeroderma tarsatum*. In addition, a list of all the known species (68 spp.) is provided.

#### はじめに

北海道稚内市の西方約30kmに位置する利尻島は面積182.11km<sup>2</sup>の円錐形の火山島である。最高標高は1721mで島全体が利尻山によって形成されている。植生は温帯性植物が多く、北温帯林から亜寒帯林への移行部分にあたり、冷温帯北部の森林帶とされる（春木ほか、2004）。

利尻島におけるハムシ科甲虫に関する記録は多く、主な記録としては以下のものがある：花谷ほか（1968）：13種、Kishii（1976）：48種、今坂（1978）：16種、木元・滝沢（1994）：42種、利尻町立博物館（2000）：23種、滝沢（2006–2014）：47種。しかし、その他にも散発的に記録されており（旭川西高等学校生物部、1965；Chûjô, 1956, 1959；Chûjô & Kimoto, 1961；Gruev, 1986；Kimoto, 1964a, b, 1965；Ohno, 1968；齋藤、2012；Suenaga, 2020；末長・堀、2013；Takizawa, 1970, 2005, 2007；早稲田大学生物同好会、

1980；保田ほか、1991），また、これらの記録はほとんど整理されていない。

本報告では、筆者らが利尻島において行った野外調査で得られた4初記録種を含む26種のハムシ科甲虫を記録した。また、文献調査を行い、過去の記録を整理し、今回記録する種と合わせた一覧表を作成した。

#### 材料と方法

野外調査は2019年7月18～20日および2020年8月24～26日に行った。採集方法は2019年の調査ではスウェーピング法、2020年の調査ではビーティング法を用いた。なお、今回使用した標本は重藤が保管している。

学名および和名はLöbl & Smetana（2010）および木元・滝沢（1994）に従ったが、以下の種についてはそれぞれの文献に従った：クロルリハムシ（齋藤、2012）およびナスナガスネトビハムシ（Nadein

& Lee, 2012). また、植物の学名については米倉・梶田 (2003-) に従った。なお、本報告では採集地の「北海道利尻郡」は全てに共通するので省略する。

## 採集記録

### ハムシ科

#### Chrysomelidae Latreille, 1802

##### ツツハムシ亜科

#### Cryptocephalinae Gyllenhal, 1813

##### 1. モモグロチビツツハムシ (Fig. 1)

*Cryptocephalus exiguus* Schneider, 1792

検視標本: 1 ex., 利尻町沓形沓形岬公園, 20.VII.2020, 山田採集。

##### 2. タテスジキツツハムシ (Fig. 2)

*Cryptocephalus nigrofasciatus* Jacoby, 1885

検視標本: 1 ex., 利尻富士町鬼脇旭浜, 19.VII.2019, 山田採集。

備考: 利尻島初記録。本種は前胸背板が黄褐色の個体と今回の調査で得られたような黒化傾向の強い個体が存在する。後者は山地や北国でみられ、かつてはキモトツツハムシ *C. kimotoi* Nakane, 1963 とされていたが、Kimoto(1986) で *C. nigrofasciatus* のシノニムとされた。その後、Takizawa(1990) では *C. kimotoi* を独立種であるとしているが、滝沢 (2007b)においてはこれらを同種としている。

### サルハムシ亜科

#### Eumolpinae Hope, 1840

##### 3. チャイロサルハムシ (Fig. 3)

*Basilepta balyi* (Harold, 1877)

検視標本: 2 exs., 利尻富士町鬼脇, 19.VII.2019, 山田採集; 1 ex., 同地, 24.VIII.2020, 重藤採集; 1 ex., 利尻富士町鴛泊大磯, 20.VII.2019, 山田採集; 4 exs., 利尻富士町鴛泊湾内, 24.VIII.2020, 重藤採集。

備考: ミヤマハンノキ *Alnus alnobetula*

*maximowiczii* のビーティングによって得られた。

### 4. ブドウサルハムシ (Fig. 4)

*Bromius obscurus* (Linnaeus, 1758)

検視標本: 2 exs., 利尻富士町鬼脇, 24.VIII.2020, 重藤採集。

備考: ヤマブドウ *Vitis coignetiae* のビーティングによって得られた。本種は上翅が黒い個体と上翅が褐色になる色彩の変異が知られており、今回の調査で得られた個体は全て上翅が褐色であった。

### ハムシ亜科

#### Chrysomelinae Latreille, 1802

##### 5. ワタナベハムシ (Fig. 5)

*Chrysolina watanabei* Takizawa, 1970

検視標本: 1 ♀, 利尻富士町鴛泊湾内姫沼, 18.VII.2019, 山田採集。

##### 6. ヨモギハムシ (Fig. 6)

*Chrysolina aurichalcea* (Mannerheim, 1825)

検視標本: 1 ex., 利尻富士町鴛泊湾内姫沼, 18.VII.2019, 山田採集。

##### 7. カワカミハムシ (Fig. 7)

*Chrysolina nikolskyi* (Jacobson, 1898)

検視標本: 5 exs., 利尻町沓形, 25.VIII.2020, 重藤採集。

備考: オオヨモギ *Artemisia montana* から得られた。

##### 8. ウズマキハムシ (Fig. 8)

*Chrysomela lapponica* Linnaeus, 1758

検視標本: 2 exs., 利尻町沓形, 19.VII.2019, 山田採集; 2 exs., 利尻富士町鴛泊, 24.VIII.2020, 重藤採集; 1 ex., 利尻富士町鴛泊大磯, 20.VII.2019, 山田採集。

備考: 利尻島初記録。本種の寄主植物であるバッコヤナギ *Salix caprea* から得られた (Figs. 27, 28)。

##### 9. ヤマナラシハムシ (Fig. 9)

*Phratora laticollis* (Suffrian, 1851)

検視標本: 1 ex., 利尻富士町鴛泊大磯,  
20.VII.2019, 山田採集.

## 10. ヤナギルリハムシ (Fig. 10)

*Plagiodera versicolora* (Laicharting, 1781)

検視標本: 2 exs., 利尻町沓形, 19.VII.2019,  
山田採集.

## ヒゲナガハムシ亜科

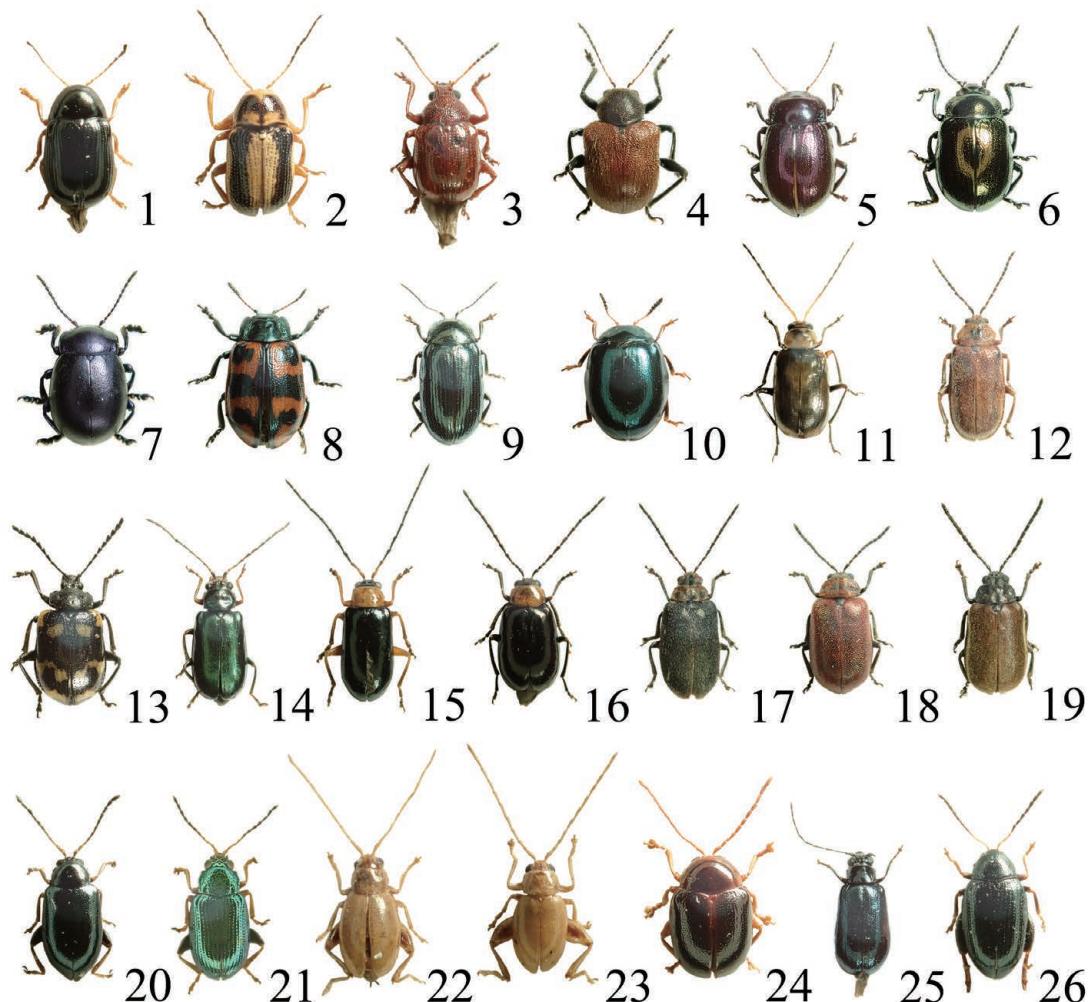
## Galerucinae Latreille, 1802

## 11. ウリハムシモドキ (Fig. 11)

*Atrachya menetriesi* (Faldermann, 1835)

検視標本: 1 ex., 利尻町沓形沓形岬公園,  
20.VII.2019, 山田採集.

備考: 本種は広食性の害虫で、その加害範囲は



Figs. 1–26. Chrysomelid beetles collected from Rishiri-tô Is., Hokkaido, Japan—1) *Cryptocephalus exiguus*, 2) *Cryptocephalus nigrofasciatus*, 3) *Basilepta balyi*, 4) *Bromius obscurus*, 5) *Chrysolina watanabei*, 6) *Chrysolina aurichalcea*, 7) *Chrysolina nikolskyi*, 8) *Chrysomela lapponica*, 9) *Phratora laticollis*, 10) *Plagiodera versicolora*, 11) *Atrachya menetriesi*, 12) *Galerucella lineola*, 13) *Gallerucida bifasciata*, 14) *Fleutiauxia armata*, 15) *Luperus laricis laricis*, 16) *Monolepta dichroa*, 17) *Pyrrhalta fuscipennis*, 18) *Tricholochmaea semifulva*, 19) *Xanthogaleruca seminigra*, 20) *Aphthona perminuta*, 21) *Crepidodera japonica*, 22) *Longitarsus nitidiamiculus*, 23) *Longitarsus succineus*, 24) *Sphaeroderma tarsatum*, 25) *Stenoluperus nipponensis*, and 26) *Psylliodes viridana*.

イネ科 Poaceae およびマメ科 Fabaceae, ウリ科 Cucurbitaceae, アブラナ科 Brassicaceae, シソ科 Lamiaceae など多くの科に及ぶ（日本応用動物昆虫学会, 2006）。今回の調査においてはハクサイ *Brassica rapa* var. *glabra* への加害が確認された。

12. ハシバミハムシ (Fig. 12)

*Galerucella lineola* (Fabricius, 1781)

検視標本：1 ex., 利尻町沓形, 19.VII.2019, 山田採集。

13. イタドリハムシ (Fig. 13)

*Gallerucida bifasciata* Motschulsky, 1861

検視標本：1 ex., 利尻町沓形, 24.VIII.2020, 重藤採集；2 exs., 利尻富士町鴛泊湾内, 24.VIII.2020, 重藤採集。

備考：本種の寄主植物であるオオイタドリ *Fallopia sachalinensis* から得られた。

14. クワハムシ (Fig. 14)

*Fleutiauxia armata* (Baly, 1874)

検視標本：1 ex., 利尻富士町鬼脇旭浜, 19.VII.2019, 山田採集。

15. ムナキホソヒゲナガハムシ基亜種 (Fig. 15)

*Luperus laricis laricis* Motschulsky, 1859

検視標本：1 ex., 利尻富士町鬼脇, 24.VIII.2020, 重藤採集。

16. ホタルハムシ (Fig. 16)

*Monolepta dichroa* Harold, 1877

検視標本：2 exs., 利尻富士町鬼脇, 24.VIII.2020, 重藤採集；2 exs., 利尻富士町鴛泊湾内, 24.VIII.2020, 重藤採集。

17. イタヤハムシ (Fig. 17)

*Pyrrhalta fuscipennis* (Jacoby, 1885)

検視標本：1 ex., 利尻町沓形, 25.VIII.2020, 重藤採集；2 exs., 利尻富士町鬼脇沼浦, 26.VIII.2020, 重藤採集。

備考：道路脇に生えているカエデ類 *Acer* sp. から得られた。

18. アカタデハムシ (Fig. 18)

*Tricholochmaea semifulva* (Jacoby, 1885)

検視標本：1 ex., 利尻富士町鬼脇沼浦, 26.VIII.2020, 重藤採集。

19. カエデハムシ (Fig. 19)

*Xanthogaleruca seminigra* (Jacoby, 1885)

検視標本：2 exs., 利尻町沓形, 25.VIII.2020, 重藤採集。

備考：利尻島初記録。

20. ツブノミハムシ (Fig. 20)

*Aphthona perminuta* Baly, 1875

検視標本：3 exs., 利尻富士町鬼脇沼浦, 26.VIII.2020, 重藤採集；34 exs., 利尻富士町鴛泊湾内, 24.VIII.2020, 重藤採集。

21. ミドリトリビハムシ (Fig. 21)

*Crepidodera japonica* Baly, 1877

検視標本：2 exs., 利尻富士町鬼脇沼浦, 26.VIII.2020, 重藤採集。

備考：本種の寄主植物であるヤナギ類 *Salix* sp. のベーティングで得られた。

22. ヒヨドリバナアシナガトビハムシ (Fig. 22)

*Longitarsus nitidiamiculus* Kimoto, 1965

検視標本：4 exs., 利尻富士町鬼脇, 24.VIII.2020, 重藤採集。

備考：日当たりの悪い林道に生えているヨツバヒヨドリ *Eupatorium glehnii* から得られた (Fig. 29)。

23. ヨモギトビハムシ (Fig. 23)

*Longitarsus succineus* (Fouadras, 1860)

検視標本：5 exs., 利尻富士町鬼脇, 24.VIII.2020, 重藤採集；2 exs., 利尻富士町鴛泊湾内, 24.VIII.2020, 重藤採集。

備考：道路脇に生えているオオヨモギ *Artemisia*

*montana* から得られた。

24. ヒロアシタマノミハムシ (Fig. 24)

*Sphaeroderma tarsatum* Baly, 1874

検 視 標 本 : 12 exs., 利 尻 富 士 町 鬼 脇,  
24.VIII.2020, 重藤採集; 16 exs., 利 尻 富 士 町 鬼  
脇沼浦, 26.VIII.2020, 重藤採集。

備考 : 利 尻 島 初 記 録。本種の寄主植物としてチ  
シマザサ *Sasa kurilesis* が知られているが (滝沢,  
2013), 今回の調査ではクマイザサ *S. senanensis* か  
らも得られた (Fig. 30)。

25. ヒゲナガウスバハムシ (Fig. 25)

*Stenoluperus nipponensis* (Laboissière, 1913)

検 視 標 本 : 1 ex., 利 尻 富 士 町 鴛 泊 大 磯,  
20.VII.2019, 山田採集。

26. ナスナガスネトビハムシ (Fig. 26)

*Psylliodes viridana* Motschulsky, 1858

検 視 標 本 : 13 exs., 利 尻 富 士 町 鬼 脇,  
24.VIII.2020, 重藤採集。

備考 : 本種はジャガイモ *Solanum tuberosum* や  
ナス *S. melongena*, トマト *S. lycopersicum* などの  
害虫として知られており (日本応用動物昆虫学会,  
2006), 今回の調査においてもジャガイモを酷く加害し  
ていた (Fig. 31)。

### 分布の再検討が必要な種

過去の文献において利 尻 島 から 記録 さ れ て い る も  
の の, 以 下 の 2 種 に つ い て は 分 布 の 再 検 討 が 必 要 で  
あ る。Table 1 で は 和 名 お よ び 学 名 の 後 に “?”  
を 付 し た。

*Phratora vulgatissima* Linnaeus, 1758

備考 : Kishii(1976) によ る て 利 尻 島 か ら *Phratora  
longula* Motschulsky, 1860 と して 記録 さ れ て い る。  
本 種 は ヨーロッパ か ら 極 東 ロシア に 分 布 し て お り,  
Kishii(1976) の 記録 を 除 く と 日 本 か ら は 記録 さ れ て

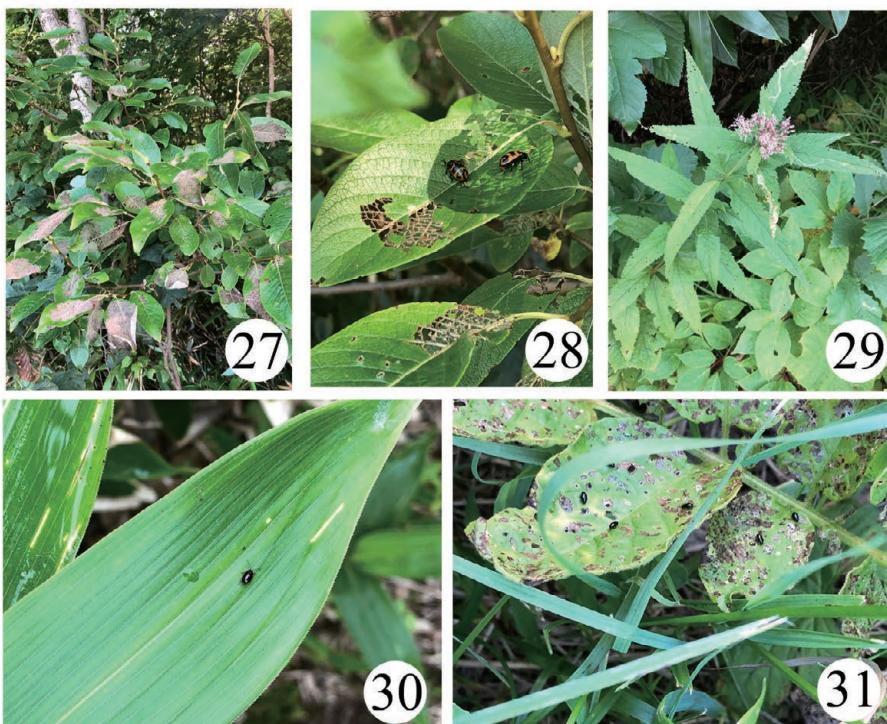


Fig. 27. *Salix caprea* on which *Chrysomela lapponica* were collected. Fig. 28. *C. lapponica* feeding on *S. caprea*. Fig. 29. *Eupatorium glehnii* on which *Longitarsus nitidiamiculus* were collected. Fig. 30. *Sphaeroderma tarsatum* feeding on *Sasa senanensis*. Fig. 31. *Psylliodes viridana* feeding on *Solanum tuberosum*.

Table 1. List of chrysomelid beetles recorded from Rishiri-tō Is. \*\* : new record

No 和名	学名	出典(年代順)
1 フタスジツツハムシ	<i>Cryptocephalus bilineatus</i> (Linnaeus, 1767)	Kishii(1976); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2007b)
2 モモグロチビツツハムシ	<i>Cr. exiguis</i> Schneider, 1792	Kishii(1976); 保田ほか (1991); 木元・滝沢 (1994); 利尻町立博物館 (2000); 滝沢 (2007b)
3 アイヌツツハムシ	<i>Cr. hirtipennis</i> Faldermann, 1835	今坂 (1978)
4 キアシリツツハムシ	<i>Cr. hyacinthinus</i> Suffrian, 1860	Kishii(1976)
5 タテスジキツツハムシ*	<i>Cr. nigrofasciatus</i> Jacoby, 1885*	本報告
6 ツヤルリツツハムシ	<i>Cr. nitidulus</i> Fabricius, 1787	今坂 (1978); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2007b)
7 アオチビツツハムシ	<i>Melixanthus pumilio</i> Suffrian, 1854	Kishii(1976); 保田ほか (1991); 木元・滝沢 (1994); 利尻町立博物館 (2000); 滝沢 (2007b)
8 キボシルリハムシ	<i>Smaragdina aurita nigrocyanea</i> (Motschulsky, 1866)	Kishii(1976); 今坂 (1978); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2007b)
9 ハギツツハムシ	<i>Pachybrachis eruditus</i> Baly, 1873	Kishii(1976); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2007b)
10 ドウガネツツハムシ	<i>Oomorphoides cupreatus</i> (Baly, 1873)	Kishii(1976); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2007b)
11 チャイロサルハムシ	<i>Basilepta balyi</i> (Harold, 1877)	Kishii(1976); 今坂 (1978); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2009)
12 ブドウサルハムシ	<i>Bromius obscurus</i> (Linnaeus, 1758)	Kishii(1976); 今坂 (1978); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2009)
13 カバノキハムシ	<i>Syneta adamis</i> Baly, 1877	Kishii(1976); 今坂 (1978); 保田ほか (1991); 木元・滝沢 (1994); 利尻町立博物館 (2000); 滝沢 (2006)
14 オオヨモギハムシ	<i>Chrysolina angusticollis</i> (Motschulsky, 1860)	花谷ほか (1968); Kishii(1976); 木元・滝沢 (1994); 利尻町立博物館 (2000)
15 ヨモギハムシ	<i>Chr. aurichalcea</i> (Mannerheim, 1825)	旭川西高等学校生物部 (1965); 花谷ほか (1968); Kishii(1976); 早稲田生物同好会 (1980); 木元・滝沢 (1994); 利尻町立博物館 (2000); 滝沢 (2007a); 斎藤 (2012)
16 クロルリハムシ	<i>Chr. difficilis</i> (Motschulsky, 1860)	Kishii(1976); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2007a); 斎藤 (2012)
17 ハッカハムシ	<i>Chr. exanthematica exanthematica</i> (Wiedemann, 1821)	旭川西高等学校生物部 (1965); 花谷ほか (1968); 利尻町立博物館 (2000); 斎藤 (2012)
18 カワカミハムシ	<i>Chr. nilolskyi nilolskyi</i> (Jacobson, 1898)	Chūjō & Kimoto(1961); Kimoto(1964a); 花谷ほか (1968); Kishii(1976); Kimoto(1989); 保田ほか (1991); 木元・滝沢 (1994); 利尻町立博物館 (2000); 滝沢 (2007a); 斎藤 (2012); 高橋 (2012)
19 サメハダヨモギハムシ	<i>Chr. pirkla</i> Takizawa, 1970	保田ほか (1991); 利尻町立博物館 (2000); 斎藤 (2012); 高橋 (2012)
20 ワタナベハムシ	<i>Chr. watanabei</i> Takizawa, 1970	保田ほか (1991); 利尻町立博物館 (2000); 滝沢 (2007a)
21 ウズマキハムシ*	<i>Chrysomela lapponica</i> Linnaeus, 1758*	本報告
22 オオホソリルリハムシ	<i>Phratora grandis</i> Chūjō (1956)	Chūjō(1956); Chūjō & Kimoto(1961); Kimoto(1964a, 1989)
23 ヤマナラシハムシ	<i>Phr. laticollis</i> (Suffrian, 1851)	Chūjō & Kimoto(1961); Kimoto(1964a, 1974); 高橋 (2012)
24 -?	<i>Phr. vulgarissima</i> Linnaeus, 1758 ?	Kishii(1976)
25 ヤナギルリハムシ	<i>Plagioderia versicolora</i> Laicharting, 1781	花谷ほか (1968); Kishii(1976); 利尻町立博物館 (2000); 滝沢 (2007a)
26 キクビアオハムシ	<i>Agelasta nigriceps</i> Motschulsky, 1861	旭川西高等学校生物部 (1965); 今坂 (1978); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2011)
27 ウリハムシモドキ	<i>Atrachya menetriesii</i> (Faldermann, 1835)	花谷ほか (1968); Kishii(1976); 保田ほか (1991); 木元・滝沢 (1994); 利尻町立博物館 (2000); 滝沢 (2011)
28 クワハムシ	<i>Fleutiauxia armata</i> (Baly, 1874)	Kishii(1976); 今坂 (1978); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2011)
29 ミソハギハムシ	<i>Galerucella calmariensis</i> (Linnaeus, 1767)	Kishii(1976); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2011)
30 チュウジョウヒゲナガハムシ	<i>Gal. chujoi</i> Komiya, 2005	末長・南 (2016)
31 イチゴハムシ	<i>Gal. grisescens</i> (Joannis, 1865)	花谷ほか (1968); 今坂 (1978); 木元・滝沢 (1994); 利尻町立博物館 (2000); 滝沢 (2011)
32 ハシバミハムシ	<i>Gal. lineola lineola</i> (Fabricius, 1781)	Chūjō & Kimoto(1961); Kimoto(1964b); 今坂 (1978); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2011)
33 イタドリハムシ	<i>Gallerucida bifasciata</i> Motschulsky, 1861	今坂 (1978); 早稲田生物同好会 (1980) 木元・滝沢 (1994); 利尻町立博物館 (2000); 滝沢 (2011)
34 ムナキホソヒゲナガハムシ	<i>Luperus laricis laricis</i> Motschulsky, 1859	花谷ほか (1968); Kishii(1976); 今坂 (1978); 保田ほか (1991); 利尻町立博物館 (2000)
35 ホタルハムシ	<i>Monolepta dichroa</i> Harold, 1877	Kishii(1976); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2011)
36 エグリバケブカハムシ	<i>Pyrrhalta esakii</i> Kimoto, 1963	Kishii(1976); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2011)
37 イタヤハムシ	<i>Pyr. fuscipennis</i> (Jacoby, 1885)	Kishii(1976); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2011)
38 サンゴジュハムシ	<i>Pyr. humeralis</i> (Chen, 1942)	花谷ほか (1968); 利尻町立博物館 (2000)
39 コニシケブカハムシ	<i>Pyr. konishii</i> Kimoto, 1963	Kishii(1976); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2011)
40 アカタデハムシ	<i>Tricholochmaea semifulva</i> (Jacoby, 1885)	Kishii(1976); 保田ほか (1991); 木元・滝沢 (1994); 利尻町立博物館 (2000); 滝沢 (2011)
41 カエデハムシ*	<i>Xanthogaleruca seminigra</i> (Jacoby, 1885)*	本報告
42 アカバナカミナリハムシ	<i>Altica oleracea oleracea</i> (Linnaeus, 1758)	Kishii(1976); 木元・滝沢 (1994); 滝沢 (2012); Suenaga(2020)

Table 1. (continued)

No	和名	学名	出典(年代順)
43	ツブノミハムシ	<i>Aphthona perminuta</i> Baly, 1875	Kishii(1976); 今坂(1978); 保田ほか(1991); 木元・滝沢(1994); 利尻町立博物館(2000); 滝沢(2012)
44	テンサイトイハムシ	<i>Chaetocnema picipes</i> Stephens, 1831	Kishii(1976); 今坂(1978); 木元・滝沢(1994)
45	ヒメドウガネトイハムシ	<i>Chaetocnema concinnicollis</i> (Baly, 1874)	Kishii(1976); 木元・滝沢(1994); 滝沢(2012)
46	キイチゴトイハムシ	<i>Cha. discreta</i> (Baly, 1877)	花谷ほか(1968); 利尻町立博物館(2000)
47	ヒサゴトイハムシ	<i>Cha. ingenua</i> (Baly, 1876)	Kishii(1976); 木元・滝沢(1994); 滝沢(2012)
48	ヤナギミドリトイハムシ	<i>Crepidodera phutus</i> (Latreille, 1804)	花谷ほか(1968); 利尻町立博物館(2000)
49	ミドリトイハムシ	<i>Cre. japonica</i> Baly, 1877	今坂(1978); 木元・滝沢(1994); 滝沢(2012)
50	アカガネトイハムシ	<i>Hippuriphila babai</i> (Chûjô, 1959)	Kishii(1976); 木元・滝沢(1994); 滝沢(2012)
51	ヒヨドリバナアシナガトイハムシ	<i>Longitarsus nitidiamiculus</i> Kimoto, 1965	Ohno(1968); Kishii(1976); Gruev(1986); 木元・滝沢(1994); 滝沢(2012)
52	チュウジョウアシナガトイハムシ	<i>Lon. ohnoi</i> Gruev, 1995	末長・堀(2013)
53	ヒナノツボアシナガトイハムシ	<i>Lon. okushiriensis</i> Gruev, 1995	末長・堀(2013)
54	オオバコトイハムシ	<i>Lon. scutellaris</i> Mulsant & Rey, 1874	Kishii(1976); Ohno(1968); 滝沢(2012)
55	ヨモギアシナガトイハムシ	<i>Lon. succineus</i> (Foudras, 1860)	Kishii(1976); Ohno(1968); 滝沢(2012)
56	ハンゴンソウアシナガトイハムシ	<i>Lon. suturellus</i> (Dufschmid, 1825)	Ohno(1968); 滝沢(2012)
57	スイバトイハムシ	<i>Mantura clavareaui</i> Heikertinger, 1912	Kishii(1976); 木元・滝沢(1994); 滝沢(2013)
58	ニホンハモグリトイハムシ	<i>Man. japonica</i> Jacoby, 1885	Kishii(1976); 木元・滝沢(1994); 滝沢(2013)
59	ホソカクムネトイハムシ	<i>Neocrepidodera interpunctata</i> (Motschulsky, 1859)	Kishii(1976); 木元・滝沢(1994); 滝沢(2013)
60	オオキイロノミハムシ	<i>Neo. obscuritarsis</i> (Motschulsky, 1859)	Kishii(1976); 木元・滝沢(1994); 滝沢(2013)
61	キスジゴミハムシ	<i>Phyllotreta striolata</i> (Fabricius, 1801)	Kishii(1976); 木元・滝沢(1994); Takizawa(2007); 滝沢(2013)
62	ナスナガスネトイハムシ	<i>Psylliodes viridana</i> Motschulsky, 1858	Chûjô(1959); Chûjô & Kimoto(1961); Kimoto(1965); Kishii(1976); 木元・滝沢(1994); Takizawa(2005); 滝沢(2013)
63	ダイコンナガスネトイハムシ	<i>Psy. subrugosa</i> Jacoby, 1885	Kishii(1976); 木元・滝沢(1994); Takizawa(2005); 滝沢(2013)
64	ヒロアシタマノミハムシ*	<i>Sphaeroderma tarsatum</i> Baly, 1874*	本報告
65	ヒゲナガウスバハムシ	<i>Stenoluperus nippensis</i> (Laboissière, 1913)	Kishii(1976); 今坂(1978); 保田ほか(1991); 利尻町立博物館(2000); 滝沢(2011)
66	チビウスバハムシ?	<i>Ste. bicarinatus</i> (Weise, 1874)?	Kishii(1976); 木元・滝沢(1994)
67	カメノコハムシ	<i>Cassida nebulosa</i> Linnaeus, 1758	花谷ほか(1968); Kishii(1976); 木元・滝沢(1994); 利尻町立博物館(2000); 滝沢(2014)
68	アオカメノコハムシ	<i>Cas. rubiginosa rubiginosa</i> Müller, 1776	Kishii(1976); 保田ほか(1991); 木元・滝沢(1994); 利尻町立博物館(2000); 滝沢(2014)

いない (Kippenberg, 2010)。本種と同属で利尻島から記録されているオオホソルリハムシ *P. grandis* Chûjô(1956) またはヤマナラシハムシである可能性があり、標本の再確認が必要である。

#### チビウスバハムシ

*Stenoluperus bicarinatus* (Weise, 1874)

備考: Kishii(1976) および木元・滝沢(1994) によって記録されている。しかし、木元・滝沢(1994) の“日本産ハムシ類学名一覧”の項や滝沢(2011) では本種の記録は本州のみとなっており、利尻島の分布には疑問が残る。

#### おわりに

今回行われた野外調査の結果、4 初記録種を含む 26 種が利尻島から記録され、文献調査の結果とあわせると、同島におけるハムシ科甲虫の記録は 68 種となつ

た (Table 1)。分布が疑わしい 2 種を除いたこれら全ての種が北海道本島部との共通種であり、利尻島におけるハムシ相の固有性は低いと言える。

利尻島ではこれまで、幾度となく調査が行われ、そのハムシ相は十分に解明されたかのように見える。しかし、*P. vulgarissima* やチビウスバハムシのように分布の再検討が必要な種もある。また、今回行った野外調査は偏った時期に短期間で行われたものであったにもかかわらず、大型な美麗種であるウズマキハムシを含む 4 種の初記録種が確認されたことから、今後、詳細な野外調査を行うことにより、更なるハムシ科甲虫が期待される。

#### 謝辞

文献調査にご協力いただき、貴重なご助言をして下さった南雅之氏(東京都)、タテスジキツツハムシの同定に際して有益なご助言を下さった竹本拓矢

氏（北海道大学総合博物館），貴重な文献を恵与して下さった酒井香氏（東京都）および佐藤雅彦氏（利尻町立博物館），鈴木瓦博士（法政大学第二高等学校），調査に同行して下さった酒井雅典氏（北海道）および安岡拓郎氏（兵庫県），相良祐三氏（沖縄県）に厚く感謝申し上げる。

## 引用文献

- 旭川西高等学校生物部, 1965. 利尻島の昆虫相（第二報告). 生物研究集報, (206): 57–63.
- Chûjô, M., 1956. Contribution to the fauna of Chrysomelidae in Japan (I). *Memoirs of the Faculty of Liberal Arts & Education, Kagawa University*, 31(2): 1–20.
- Chûjô, M., 1959. Contribution to the fauna of Chrysomelidae in Japan (III). *Memoirs of the Faculty of Liberal Arts & Education, Kagawa University*, (81): 1–16.
- Chûjô, M. & S. Kimoto, 1961. Systematic catalog of Japanese Chrysomelidae (Coleoptera). *Pacific Insects*, 3(1): 117–202.
- Gruev, B., 1986. New distributional data about some species of Alticinae (Coleoptera, Chrysomelidae). *Entomological Review of Japan*, 41(2): 137–138.
- 花谷達郎・小沼篤・酒井香, 1968. 利尻島の昆虫(II) 鱗翅目を除くその他の昆虫. Pp. 79–91. 中村武久（編），利尻島動植物調査報告. 東京農業大学第一高等学校. 東京.
- 春木雅寛・藤原充志・松田彌・夏目俊二・矢島崇・並川寛司・新山馨, 2004. 利尻島および礼文島における代表的な森林植生について. 利尻研究, (23): 57–91.
- 今坂正一, 1978. 利尻島 6 月下旬のハムシ. *Elytra*, 6(1): 38.
- Kimoto, S., 1964a. The Chrysomelidae of Japan and the Ryukyu Islands. V. *Journal of the Faculty of Agriculture, Kyushu University*, 13(2): 263–286.
- Kimoto, S., 1964b. The Chrysomelidae of Japan and the Ryukyu Islands. VI: subfamily Galerucinae I. *Journal of the Faculty of Agriculture, Kyushu University*, 13(2): 267–308.
- Kimoto, S., 1965. The Chrysomelidae of Japan and the Ryukyu Islands. VIII: subfamily Alticinae I. *Journal of the Faculty of Agriculture, Kyushu University*, 13(3): 401–429.
- Kimoto, S., 1974. New or little known Chrysomelidae from Japan and its adjacent region I. *Kontyû*, 42(2): 144–150.
- Kimoto, S., 1986. New or little known Chrysomelidae (Coleoptera) from Japan and its adjacent regions, IV. In Ueno, S. (ed.), *Entomological papers presented to Yoshihiko Kurosawa on the occasion of his retirement*: 309–313. The Coleopterists Association of Japan, Tokyo.
- Kimoto, S., 1989. Family Chrysomelidae (Chrysomelinae). *Check-List of Coleoptera of Japan*, (31): 1–13.
- 木元新作・滝沢春雄, 1994. 日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説. 東海大学出版. 東京. 539pp.
- Kippenberg, H., 2010. Chrysomelinae. In Löbl, I. & A. Smetana (eds.), *Catalogue of Palaearctic Coleoptera*, 6: 390–443. Apollo Books, Stenstrup.
- Kishii, T., 1976. A list of chrysomelid-beetles from Japanese appendant islands. *The Bulletin of the Heian High School*, (20): 77–91.
- Löbl, I. & A. Smetana, 2010. Catalogue of Palaearctic Coleoptera, 6. Chrysomeloidea. Apollo Books, Stenstrup. 924 pp.
- Nadein, K., & C.-F. Lee, 2012. New data about some Alticinae from Taiwan with descriptions of two new species (Coleoptera, Chrysomelidae). *Bonn Zoological Bulletin*, 61: 41–48.
- 日本応用動物昆虫学会, 2006. 農林有害動物・昆虫名鑑（増補改訂版）. 日本応用動物昆虫学会. 東京. 387 pp.
- Ohno, M., 1968. A revision of *Longitarsus*-species occurring in Japan (Coleoptera, Chrysomelidae, Alticinae). *Journal of the Toyo University, Gen-*

- eral Education (Natural Science), (9): 1–56.
- 利尻町立博物館, 2000. 利尻産昆虫目録. 利尻町立博物館, 利尻町. 98pp.
- 齋藤諭, 2012. 日本産ヨモギハムシ図鑑. 月刊むし, (491): 10–26.
- Suenaga, H., 2020. A revision of the genus *Altica* (Coleoptera: Chrysomelidae: Galerucinae) of Japan. *Japanese Journal of Systematic Entomology, Supplementary Series*, (2): 163–258.
- 末長晴輝・堀繁久, 2013. 北海道におけるアシナガトビハムシ属 *Longitarsus* 4 種の分布記録と生態に関する知見. さやばねニューシリーズ, (10): 20–22.
- 末長晴輝・南雅之, 2016. チュウジョウヒゲナガハムシの追加記録と食草について. さやばねニューシリーズ, (22): 37–38.
- 高橋敵, 2012. ハムシ科 (マメゾウムシ亜科・ネクイハムシ亜科を除く). 初宿成彦 (編), 大阪自然史博物館所蔵甲虫類目録 (2). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第 44 集: 239–372. 大阪市立自然史博物館. 大阪.
- Takizawa, H., 1970. Descriptions of five new species of the genus *Chrysolina* Motschulsky in Japan (Coleoptera: Chrysomelidae). *Kontyû*, 38 (2): 117–125.
- Takizawa, H., 1990. Notes on Japanese Chrysomelidae (Coleoptera), with description of two new species. *Akitsu*, (n. ser.), 114: 1–7.
- Takizawa, H., 2005. A revision of the genus *Psylloides* Latreille in Japan (Chrysomelidae: Alticinae). *Insecta Matsumurana, New series*, 62: 175–185.
- 滝沢春雄, 2006. 日本産ハムシ科生態観書 (1). 神奈川虫報, (156): 1–8.
- 滝沢春雄, 2007a. 日本産ハムシ科生態観書 (2). 神奈川虫報, (157): 17–26.
- 滝沢春雄, 2007b. 日本産ハムシ科生態観書 (3). 神奈川虫報, (158): 37–48.
- Takizawa, H., 2007. A revision of the genus *Phylloretta* Chevrolat in Japan (Chrysomelidae: Alticinae). *Entomological Review of Japan*, 62(1): 113–120.
- 滝沢春雄, 2009. 日本産ハムシ科生態観書 (4). 神奈川虫報, (168): 1–11.
- 滝沢春雄, 2011. 日本産ハムシ科生態観書 (5). 神奈川虫報, (173): 35–51.
- 滝沢春雄, 2012. 日本産ハムシ科生態観書 (6). 神奈川虫報, (177): 33–51.
- 滝沢春雄, 2013. 日本産ハムシ科生態観書 (7). 神奈川虫報, (179): 17–33.
- 滝沢春雄, 2014. 日本産ハムシ科生態観書 (8). 神奈川虫報, (182): 37–46.
- 早稻田大学生物同好会, 1980. 利尻島の動植物調査報告. 早稻田生物, (22): 25–68.
- 保田信紀・西谷栄治・佐藤雅彦, 1991. 利尻山における地表性甲虫類の垂直分布 – 利尻島・礼文島昆虫相調査報告 –. 利尻町立博物館年報, (10): 13–28.
- 米倉浩司・梶田忠, 2003-. BG Plants 和名－学名インデックス (YList) : <http://ylist.info/index.html> (2020 年 10 月 1 日閲覧).